

令和5年度 夏季休業中の課題に関する保護者からのご提案について

アンケートへのご回答ありがとうございました。保護者からのご提案について、次年度へ生かしてまいります。

1. 夏休みの課題を選択制にして減らしたことで、お子様の興味関心に従って学んだり、普段はできない体験をしたり、休養したりすることはできましたか。

● そう思う	77
● ややそう思う	57
● あまりそう思わない	28
● そう思わない	7



2. 夏休みの課題や過ごし方についてご提案(原文通り)

宿題が本人の負担にならない程度だったので助かりました。

塾の宿題が多く、選択制で無理なくこなすことができました。

宿題が選択できて、自由研究などじっくり取り組めて良かったと思う。

ただ、自分でやらなければならないことを計画立てるのは、息子にはまだ難しいようだった。

登校日がないので、ミートを活用してオンラインでクラス交流をする日などがあると思う。

課題を減らすことに反対です。

昨年度まであったサマーワークがなくなったことで、自宅で夏休み用に市販のワークを購入してやるように本人と話しましたが、

本人は『宿題じゃないからやらなくてもいい』という気持ちで全くやる気にならず、買い与えたワークをやらせる事に凄く苦労しました。

これが、『宿題』としてサマーワークが出ていたら、昨年度の様子を振り返ると、

夏休みに入りすぐに取り掛かり終わらせよう！という気持ちで、ワークをすぐに終わらせる事が出来たのに。と思う

と、サマーワークがなくなった事が凄く残念でした。

上に兄と姉がいますが、上の子の時はサマーワークの他にも読書感想文や各学年の課題(絵日記や理科か生活科の観察)もあり、上の子たちの時と比べると、今は『ゆとり世代』に当たるような学力低下を心配します。

いつからか読書感想文がなくなって、更にサマーワークまでなくなってしまい、

夏休み明けに提出する『作品展用の自由研究や自由工作』は残る。。

むしろ、自由研究や自由工作をなくし(低学年は親と一緒にでないとなかなか子供一人でやるのは難しかったり、周りの保護者の方もよく『親の宿題』と話されている方もいます。)、

サマーワークや読書感想文等を復活させた方が、学習習慣が崩れずに二学期始まっても学習に対して取り組む気持ちもだらけずにやれるのかなと思いました。

長文失礼致しました。

課題が選択制になったことで、毎年悩みのタネだった親の負担(自由研究や作文の手助け)が軽減され、ありがたかった。子どもも強制された宿題ではなく、自分のできそうなものを選んでやれるのが良かったと思う。

個人でなかなかできないものを市が主催してやってもらえたら嬉しい。ちょっとした農業体験や国際交流など。夏休みこども教室があるが、あまり魅力的に感じられる講座がなかった。

タブレット学習が多いと親が直ぐに進捗状況を確認する事は難しいので、昔ながらのペーパーワークにして欲しいです。

選択制の課題は良いが、自由研究や読書感想文など、1年生には初めてのことで、どうして良いのか分かりません。今年度の感じは良かったと思います。

自分が興味のあるものに打ち込むことができたのではないかと思います。

iPadのネクストドリルの課題の範囲指定が、夏休みに入ってから数日後にクラスルームでのお知らせだった。それまで子どもにどこをやらせるべきか分からなかった。

後日お知らせしますとの一言を連絡帳なり、スクリレなりに欲しかったです。

学校のプール開放をしてほしい。民間の所には歩いていけない場所が多く、連れて行けなかった。もしくは、学年毎にプール登校日を設けてもらえると嬉しいです。

学校からの課題は丁度良い量だと思う。

引き続き自由研究・自由工作・読書感想文などは選択または任意を希望します。

パソコンを使った課題では、紙であればすぐに終わりにできるものでしたが、画面が反応しない、違う字で判別され、かえて時間がかかりました。できれば、紙で書いて課題はやらせたいです。

あくまで個人としての感想ですが、大人になったときに子供の頃の夏休みを振り返ったとき、遊ぶためにどうすれば課題を効率よくすればいいか考えたり、宿題多いよ〜とボヤきながら作文を(無理やり)書いたりすることが、大人になる貴重な経験だったのかなと思います。

課題

我が家では今年、初めて子供達(小2、小1、年中)にチャレンジさせた事です→「母方の祖父母と一緒に自分達で育てたスイカを食べて担任の先生に何が大変だったか。どんな味がしたか等を自分達で伝える！」

やらせた理由→子供達はスーパー等に売っているスイカを買って食べた事しか無かったので自分達で育て食べる事で学べる事があったから。

過ごし方

新学期、学校生活に戻った時に苦労しないように、毎日遊んでばかりという生活にならないように子供達全員に毎日、家のお手伝いをさせました。

出かける前にも必ず学校の宿題や市販のドリル等をしてからという生活にして生活リズムも崩さないように気をつけました。

スマイルネクストをどこからどこまで夏休み中にやるのかもっと具体的に教えてほしかった。

夏休み前に伝えられたのかもしれないけど、子供の話のみを信じていいものかわからないので、夏休み明けに実はこれも夏休みの宿題に含まれていたって事になると困る。

夏休みの課題が選択制になった事で、親の負担は減ったと思うけど、スマイルネクストは、書き順や止め、はねなどが違っていても予測変換のように表示されてしまうので、間違っても親が気にして見てないと間違っても覚えたまままだと思うので、結局親がつきっきりになって見てないといけなから、紙でもデジタルでもどちらでも変わらない気夏休み中に、学校のプール開放が無かったのは残念でした。

今年のように、一つ選んでやる方がいい。

家族や親戚で出かけたりする時間に使える。

我が家では、自由時間が多く確保できたおかげで、長い夏休みならではの体験が出来たと満足しています。(キャンプや帰省、ボランティア、手伝いなど)

一方で、一学期の復習も大切にしたいと、市販のドリルを活用していました。しかし、まだ2年生の子供が家庭で学習を習慣づけるためには、親がかなり気を配らねばならないと難しさも感じています。

最低限の復習内容を課題として出して頂けたほうが、子供にとってはモチベーションが上がるようです。

宿題に追われながらの夏休みではなく、余裕のある時間を過ごせました。

ただ興味のあることに対して気持ちが向かず、また去年よりもゲームをしている時間が長く、保護者としては不安を感じました。

選択制にしたこと自体はいいことだったのかもしれませんが、これは選択制どうのこうのという問題ではないかも知れませんが、課題をiPadで行うため、親目線としては宿題の進捗の見える化ができなくなり、子どもを信用して、課題が終わっているものと思い8/31に確認してもらったところ、やっていない課題が山ほど見つけられ徹夜になりました。課題に対してもう少し見える化がしやすいと助かります。また、子どもの頃は、自分が何に興味・関心があるか、自分が何が得意・好きかを自分ではわからず、知らなかった何かを体験することで、初めてそれが面白いと思うこともあると思うので、強制的？(主導的?)に機会を作ってあげることも必要なのではと思います。このあたりのバランスが難しいのだとは思いますが。

パソコンのドリルだと、いまいちどれくらい勉強ができてののか親が把握しづらいので、夏休みのドリルは、書きこむ筆記タイプのドリルがあってもいいのかなと思いました。

プールの開放がなくて残念でした。

スマイルネクストドリルについて、宿題の必須項目になっているにも関わらず範囲が明確でなかった。結局親が管理・指導するかどうかで宿題量が決まるため(子供に任せたらほとんど手をつけないと思われる)、指示してもらえた方がいいのではないかと思った。

宿題に追われず、のびのび過ごすことはできた。

今年くらいの宿題の量で適正だと思います。

自由参加型のサマーキャンプとかあれば面白いかもしれません

夏休み中に、クラスルームのドリル(やっていないところ全部)に取り組むという課題はハードルが高すぎてモチベーションも下がり、できるところまででした。

普通の授業や宿題で全くやっていなかったの、4ヶ月分は無理です…。

なお、ドリルの漢字は反応が非常に悪く、代わりに大人が書いてみても反応されず、書いていてもバツになるのは子どもによく無いと思います。

上の学年はペンを配布されていましたが、そのペンも反応せず、指でもペンでも反応せずに困りました。

上のクラスは、クラスルームのドリルを先生がピックアップして範囲を決めてくれて分かりやすく良かったようです。先生は大変かと思いますが、7月の後半と8月の後半に「クラスで未だやってない人が●人います。」とアナウンスしてくれたのは、やり忘れ防止に良かったのと

長い夏休みにクラスのみんなとの一体感もあり良かったです。

8/31に、夏休みの宿題が終わってなければ9/1の宿題になると言われたのも振り返って漏れがないか確認するきっかけになって助かりました。ありがとうございました。

・絵日記は一枚だけではなく、一枚以上と通達して欲しい。

一枚書いたら終わりとかわかってるので、なにもない日のことを書いたりして終わってしまう。(早く終わらせるのは悪いことでは無いが、書いてしまってからまた描きたいものが出てくると困る)

・読書感想文や絵画など選択制であるのはありがたい。

ただ、低学年であれば好きなことの発表とかにして貰えたりすると嬉しい。(夏休みにこんな体験をしてどう思ったか、それについてこんな考えがで出来た。的なもの等)

学校でプールの開放があれば良かったと思う、

夏休みの課題を選択制にしたことで、子どもの自主性を引き出すことができていたと思います。

ドリル(紙の)あったらいいなと思いました。

ワーク(ドリル)はあっても良いかと思います。

ドリルなどはあってもいいかと

選択制にしたことは、自分の知りたいことや興味のあることを学習できたので、よかったと思う。その他、算数や漢字の課題は、筆記のものがあっても良い。

プールの開放がなかったのは残念。来年度は、再開してほしい。

タブレットでの学習により、進行状況や理解度が親にとって把握しにくくなってしまったように感じました。

親の仕事の関係で、夏休み中は留守番をさせることが多かったの、漢字や計算問題などは、ノートに記述する形で後で見れる方が日中の学習の様子を知ることができると思いました。

学年が低いほど、夏休みの課題に親の介入が必須で、共働きでフルタイムの仕事しながら夏休みの課題の手伝いをするのは容易ではありません。

また、完成度も、能力の高い一部の子を除いて、親がどれだけ情報、時間、手間とスキルを持っているかで大きく差がでると思います。

個人的には、夏休みの課題は、子どもが持っている能力だけで完結するもので良いのではと思います。

算数ドリルや、漢字練習など。

自由研究や作文、読書感想文、絵画、図工も、子どもだけで完結しませんし、完成度の高さと本人の努力は比例しないと思います。

家庭の格差は存在します。

どちらでもいいはやらないです。

夏休みは長すぎてダラダラ過ごしてしまうし、学校生活に戻るのが億劫になります。

もう少し小分けに休みがあったほうがありがたい。

量が少なかったの、休みを子供らしく過ごせることができた

自由研究がなかったのが大きい

結局はYouTubeの真似や親の負担なので

自由研究の意義が薄れていると思っていた矢先だったので

図工は自分で考えて試行錯誤しながらスノードームを制作していました。

考えたり出来上がりを想像したり、すごくいい事だなと思いました。

以前のように、紙のドリル学習にしてほしいです。

PCでのドリルは、やっているのかやっていないのか一目で分かりづらい点が気になりました。

毎日どれくらいやって、あと残りはこれくらいあるとかがデータで保護者のメールに送られてくれば分かりやすいと感じました。

そういった点では、昔あったような冊子の夏休みドリルは分かりやすいです。

作文は何か一つかくように宿題にしてもいいかと思いました。

夏休みの課題、分量はちょうどよかったです！
2年生は好きなボリュームで課題を選びながら、市販のドリルで計算力を足しました。

6年生は受験があったので、毎年多くチャレンジしている課題を受験勉強の時間に変えてがんばれる自由度がありました。
良かったです。

ドリルのような、達成感が得られやすい課題もあると良いと思いました。

勉強する子はする、しない子はしない！とはっきり分かれるのである程度はあった方が良いかなあ～とは思いますが。
ただ、制作とかよりドリルとかの方がありがたいです。

スマイルネクストなどiPadでなく、紙ベースの宿題にして、まだまだ書くことが不慣れな低学年は、夏休みを書く力を
伸ばす期間にして欲しい。

5年生なので自分で選択出来て、興味を持ったものを進んで取り組めたようなので良かったです

タブレットだけではどこまで子供が進めたのか分からず、ドリルを購入して子供が何を理解していないのか知ることが
できました。

昨年まであったドリルなどを再開していただけるとありがたいなと思いました。

ドリルは紙のものにしてほしい。

個人で苦手な勉強が違ふと思うので、課題が少ないのは助かります。

学年が上がると学童に行けない為、学校の教室を解放して自習室として使えると有り難いです。

選択制にして夏休みの宿題を減らすことには大賛成です。スマイルドリルも2～3日で終わらせてしまい、日々学習を
続けるという観点からは全く意味のない課題に感じました。

ただ、塾に行っていたり、家庭で計画的に学習をしている児童とそうでない児童との格差が大きく開いてしまうことが
問題点に感じます。

登校日なしの40日の夏休みは新学期に登校するのがとても重いです…今年も新学期行けないかもと思うほど夏休
み終盤落ち込んで不調でした。

登校日の設定や夏休みを短くし、2期制にする(一週間ほどの秋休み)ことを希望提案させていただきます。

iPadやChrombookでのドリルの宿題は、タッチペンを使っても、反応が悪かったり、答えがあっているのに、不正解に
なってしまう事が度々あり、スムーズに進まずに、嫌気がさしてしまって終わらせるのが大変でした。

答えを入力のみにするか、漢字やひらがな練習のドリルは紙媒体の方が良いと思いました。

読書感想文や自由研究を、選択制にすることで、全部をやるより集中して取り組めるのはとても良いと思います。し
かし、1つだけやれば良い、という思いからだらけてしまうことが多く、やらせるのはかなり大変です。ドリルなどは、

メールで何日までに提出、とかあれば少しは取り組む時間が増えるのではないかと思います。

また、今回書道をやってみました、お手本がほしいと思いました。ホームページやクラスルームからダウンロードで
できるようになれば紙も無駄にならないので検討していただけないでしょうか。よろしくお願ひします。

自由研究、読書感想文等から好きな物を選んでやる形は良かったです。

一つしかやりませんが、自分の興味のある事を進んで出来たので。

Chromeのドリルはもう少しあっても良かったのかなと思います。

すぐに宿題が終わってしまったので。

親の負担はかなり減りました。

宿題に追われる事なく、ゆっくりできました。

夏休み終了を8月最終週に繰り上げて居る学校が首都圏内でも増えてきています。

台風や感染症で休校になる可能性を考えるとエアコンもついて居る事ですし、同様の処置をする事で、休校が起こっ
た際カリキュラムの遅れが少しでも減らせるのではないかと思います

課題は少なく感じます。

タブレットから課題を送信したり、課題を学習した事がタブレットで確認出来ると、毎日頑張れるかもしれません。

読書感想文が今までは必須で、上の子の時は感想文の書き方や長い創作分を書くこと自体を授業で習うこともない
のに、いきなり自分の思ったことを長い文章を書けるわけもなく書かせる側としてはとても苦労した。

それなので、選択制になって大変ありがたい。

自分が子供時代に書いた、1行日記や1日の過ごし方を書くプリントのようなものが配られると、簡単な作文を書く練
習になっていいと思うので復活してほしい。

これからも宿題は最小限にしてほしいです。

必要不必要の判断は各家庭で異なると思います。

宿題が少ないと感じれば各家庭に必要なものを用意すれば済みますが、不必要なものを宿題として出されればやら
ざるを得なくなります。

昨年度までは宿題も多く、それに加えて自宅学習もしていたので、子供達は大変だったと思います。

保護者の私たちでさえ「これ何の為にやらなくちゃいけないの?」「何の力になるの?」と疑問に思う宿題もあり、不必
要と思う宿題よりも家庭学習を優先させたかったです。

今年は無駄な宿題がなかったおかげで、自宅学習にも意欲的に取り組む時間もできましたし、夏ならではの体験も
十分な休息も取ることができました。

感想文が必須でないおかげで、読書もじっくり楽しんでいました。

今年の夏休みの課題については、量・質ともに共感できるものでした。

今後も是非継続して頂きたいです。

パソコンよりも、書く課題があっても良いと思います。入力しにくく、時間もかかる。子供が字を書かないので、文字を
書けなくなりまふ。

感想文や研究・工作は、ドリルと違い進め方がわからず苦手意識を持つ子供が多いと思う。そうすると、親が手助けすることになり、子供は自分で考えることをあきらめてしまいがちだ。

今年は選択制となったこともあり、一つに絞ってじっくり作り上げることができた。課題が多く、一つ一つがいい加減な出来になるよりも、興味のあることを突き進める方が宿題をやった後にも役立つし、満足度の高い物が作れると思う。

実際息子は、すでに学んだことが生活に生かされている。

ドリルの量がもう少し多くても良いと思いました。

宿題のドリルはパソコンでやるタイプだと、何をやっているのか、どこまで終わったのか一緒に確認出来ないのが紙のドリルが良い。工作にするのかポスターにするのか自由研究にするのか…他にも選べたので自分に合った物に取り組めて良かった。

以前は嫌々やっていたのですが、上の子も下の子もどれをやるかゆっくり考えながら選んでいました。宿題に追われる事でお出かけも少なかったですが、時間にゆとりがあり家族で出かける時間が増えました。今回の選択制+苦手な部分の復習などで良いと思います。

うちの子は支援学級です。なので、子どもに合った学習で宿題を出して欲しかったです。習ったことのない宿題を出されて親の負担と、本人のストレスがかかっていました。不幸にもiPadの調子が悪く途中からアクセス出来ず宿題をやれなくなり、本人の負担が軽減されましたが、本当はやらなきゃいけないのにやらない状況になってしまい不安と焦りが出ていて情緒不安定になってしまってた大変でした。

猛暑で外で遊べない事が多く、家の中でゲームをしたり、YouTubeを見て過ごす事が多かったです。ドリルやプリントなど課題があった方が有意義に過ごせたのではないかと思います。

ドリルのように、ちょこちょこやる宿題の負担はなかったのと、選択制にすることによって、嫌々やらせるのではなく、子供の興味、感心のあるもので集中して、楽しんで取り組んでくれてとてもよかったです。

せっかくの夏休みなので、宿題も大事ですが、家族や友達と楽しくすごくのも子供にとっては大事だと思います。なのでとてもよかったです。

宿題がなくて、暇にしていることが多かった。自主的にやるか、強制的にやらせるかはすごく迷うところ。

作文など、夏にやらないと、触れる機会は減ってしまうなと感じた。

読書感想文は必須にしても良いと思います。

選択制にした事によって、自由な時間は増えましたが、勉強習慣を保つようにする事が難しいと感じました。

夏休みの課題が選択制になり、働きながらもフォローしやすくなりました。子供も1つの作品に集中できたと思います。

小学校での開放プールがなくなって、子供だけで遊びにプールに行けなくなったため、母仕事の日に体を動かすことができず体力がおちたと思われます。

特に今年は猛暑日が多く、公園で遊ぶことも危険でなかなかできなかったのことも要因として大きいです。

自宅で学校支給のクロームブックでずっとYouTubeみて過ごしていたようなので、もう少し厳しめの制限をかけられるようにしてほしいです。

デジタルドリルがあまり良くなかったように思います。

子供では、書いた文字がきちんと反応しなかったり、逆にきちんと書けていないのに正解になったり(特に漢字)していました。

やはり手書きが良いと思ってしまいました。

量としてはこれぐらいでちょうど良いと思いました。

夏休みの宿題が少ないことでたっぷり休養はできましたが、学習意欲は低下し毎日ダラダラしていたように見受けられます。

時代が違うのかもしれませんが、長期休暇代わりに課題量は少なく感じています。

複数の課題をやり切ることで、学習面のみならず、達成感や忍耐力等身につくのかなと思っています。

自主学習では苦手なものを避けることができますが、学校からの課題となると「やりたくない(逃げること)」は選ばせません。得意を伸ばすのは素晴らしいですが、嫌なことでも頑張る気持ちも大事だと思います。

我慢の心を育てる意味も踏まえて、宿題量が増えてもいいのではないのでしょうか。

自由研究、読書感想文は親の負担となるのでできれば無くして欲しいです。代わりに自分で進められるドリルなどは増やして欲しいなと思います。

特別な課題については親のサポートが必要な子がほとんどだと思うので、働く母親が多い現代(我が家も)には課題を減らして選択できるようになったのは有り難い。

その分普段より手伝いをしてもらったり、家族での時間を作れたと思う。

自由研究は子供2人いますが自分からやりたい！という感じではありませんでした。

親が最後まで子供のお尻をたたいてやる感じです。

強制的にやらせるのであれば意味がないかな。と感じます。

宿題に関しては一年生の息子は自分のレベルにあった宿題をなかよしの先生が出してくださいました。

家庭それぞれの過ごし方があるので、強制的な宿題はないに越したことはない。今年のシステムは良かった。必要性が認められる子に対しては個別で出しても良いし、このことに限らず、悪平等から脱して行くべき。先生方の負担を減らし、学校という限界が来ているシステムをミニマム化していくことに賛成です。無理を続ければ、結局は子供たちに弊害が出ます。

課題が少なかったことで、「早く終わらせよう！」が初めて実行できました。

親も例年より、イライラせずに過ごせて良かったです。

休養できたが、ダラダラ過ごす時間が増えた。ドリルは初日に終わってしまったので、夏休みの前半と後半など、分割して配信してもらえると、後半も少し勉強していたと思う。

夏休みに一学期の復習など、やりたい人がするプリントを配布してもらえるとありがたい。
先生もまるつけはしなくてもいいので、答えもほしい。

夏休みの課題のスマイルドリルに関して、算数などは解き直したくても、次の問題へとすぐに進んでしまったり、鉛筆書きとは違い

タッチペンや指では上手く書けず、答えがあっても×になってしまったり、
wifi環境が悪く、取り組みたいタイミングで出来なかったりと、困りました。

また、宿題をこなす媒体とは言え、YouTubeやゲームを楽しむこともできるので、誘惑が多くて大変だと思いました。
以上の理由からドリル学習等は小学校の内は紙面の方が良いと思います。

課題の内容についても我が子や他の塾などに通っていない子どもの場合、時間があっても
必須の課題でない限り積極的に取り組まないの、読書感想文や自由研究になどは高学年は特に必須にした方が
良いと思います。

課題の選択は親にとってはとてもありがたいと感じたが、課題がないことで子どもが自身で全く学習する機会や必要性
がなくなってしまい、親が課題を用意して学習させることはそれはそれで大変だったので、ドリルやワーク、復習の
ような課題が選択制であってもあるといいなと感じた。

課題の選択制は、子供の自主性を尊重しながら課題を決めていけるのでよかったですと思います。

一方で、3年生にも兄弟がいますが1学期の学習の復習(国語、算数、理科、社会)は今年はデジタルのみでの宿題と
なり、ドリルなど紙媒体のものがあってもよいと感じました。

(あくまで我が家の場合は)

去年までの様子を見ていても、普段からやっているスマネクよりもドリルの方が夏休みの課題として認識していた様
に思います。

本人も形で残る方がやる気が起きやすく、親も得意不得意を把握しやすいと感じました。

普段できない様な体験や休養の目的も大切にしながら、記述形式の考える問題や基礎、応用と一通り復習できる形
で課題をもう一度検討していただきたいと感じます。

課題を選択制にして減らした事で、子どもの興味のある課題を意欲的に取り組めた。

タブレットもいいのですが、やはり書く事も必要かと…。特に漢字は書かないと覚ええないし、字がうまくならないような
気が致します。

塾など、それぞれの家庭の方針もあると思うので、家庭で選択できるようになるといいのかなと思います。

今回と同様が良い。

ドリルは夏休み初日で終わってしまっていたし、毎日やるようなものが1つ2つあった方が良いと思う。例えば、夏休み
中に読んだ本を3~5冊紹介するような、読書感想文までいなくてもノート1ページで1冊紹介…くらいのを宿題
として出してみるとか…。毎日猛暑で外で遊ぶというのが難しい環境なので、どうしてもゲームばかりになってしまっ
ているので。

夏休みの宿題は無くても良いと思います。

昔と違い働いている母親も多いと思います。一緒に過ごせる貴重な時間が宿題に費やさなくてはいけない現状があ
り、疑問に感じます。小学生の夏休みの宿題は子供への宿題ではなく、親への宿題であり、意味があるのかも疑問
です。

1人でも取り組める、毎日1ページずつ進めるくらいのドリル程度がいちばん良いのではないかなと思います。毎日机
に向かう癖づけ、最低限の学力の定着になるかなと思います。

他に、家族と食事に行く、旅行に行く、新しいことに何かチャレンジするなど、もっと大切なことがあると思います。

今年度は冊子のドリルが無かった為、ルームでは学校の課題に取り組むことが困難だった。

特に低学年児童は、ルームでのタブレット使用を禁止されていた為に、課題は夏休み全体で取り組むというよりは親
の休日に合わせた取り組みになり、中々習慣づけは難しかった。

3年と1年の子供がおり、植物の持ち帰りがあったが、観察課題がなかったり、あっても猛暑等で枯れてしまい最後まで
観察できないといった事があった。

親の管理も不十分であったと思うが、もう少し子供が最後まで観察できる方法(課題数、育て易さ)の配慮があるとい
いと思った。

選択課題は、親の負担が減り良い面もあるが、勉強嫌いや自主性のない子、我が子の様に遊びたい！といったタイ
プの子にとっては、「先生がやりたい人だけやればいいって言ってた！」と言い訳して取り組まないの、1学期の復
習課題が、学校側から出してもらえると親としては助かります。

基本的にはこれまで通り変わらず、リズムをあまり崩さない様心掛けておりました。

学習の宿題がもう少しあってもいいかなと思いました

サマーワークを頂きたいと思いました。色々な負担を考え、iPadやChromebookの活用にはしていますが、
やはり紙に鉛筆で書かせることも大事なのでは？と思いました。

絵画、自由工作、自由研究などの課題については、選択制ではなく、提出したいお子さまだけで良いと思う。

読書は好きなようで、普段も読んでるんですが読書感想文となると難しいようで、中々書けません。親としてどこまで口を出せば良いのかなと悩みます。

正直、課題が減ったことで子も親もゆっくり休養出来ました。放デイに行ってるので、遊んではばかりの夏休みでもなかったと思います。

課題が選択制なのは良いと思いました。

